

1. 事業評価説明シート

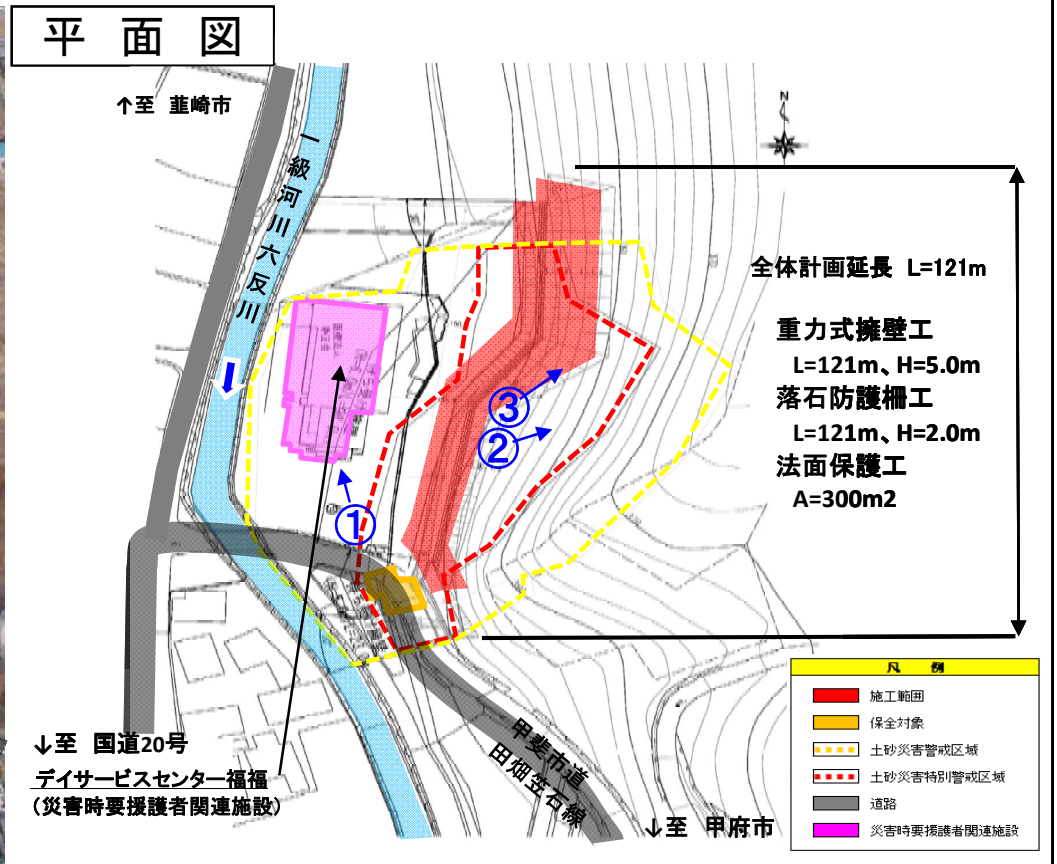
事業名	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業(国補)]	事業箇所	甲斐市 宇津谷	地区名	中谷戸の3(なかやとの3)	事業主体	山梨県
(1) 事業概要 ①課題・背景 ・中谷戸の3地区は、県中西部の甲斐市宇津谷に位置する、一級河川六反川左岸の河岸段丘沿いの急傾斜地である。 ・当該斜面は平均斜面高20m、平均勾配35度の急傾斜地であり、脆弱な地質に加えて斜面の荒廃、禿禿地化が進んでおり、小規模な落石も発生している。 ・保全対象区域には、災害時要援護者関連施設であるデイサービスセンター福福、甲斐市道田畑笠石線があり、当該斜面が崩壊した場合には甚大な被害を及ぼすことが予想され、その対策が急務である。 ②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・過去の災害実績、緊急度、災害発生の危険度：12点≥10点以上※ ・人家一戸当りの被害軽減額：302百万円/戸≥39百万円/戸以上※ ・災害時重要公共施設：無 ・保全対象(災害時要援護者関連施設：デイサービスセンター福福、人家1戸、重要公共施設：甲斐市道田畑笠石線L=53m) 「※」：評価基準値 □副次目標 — □副次効果 —				(3) 事業の妥当性評価 ①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) 妥当・妥当でない ・急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。 ③経済妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 費用便益費 便益(B)/費用(C) = 6.5 > 1.0 ・便益(B) = 604百万円、・費用(C) = 93百万円 ④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。 ⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。 ⑥環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・緑化等を行い環境負荷に配慮する。 ⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地元要望に基づいており、地域の同意は得られている。 総合評価 [貢献度ランク：a] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
(2) 整備内容と整備量 ①整備内容 ・重力式擁壁工 L=121m H=5.0m ・落石防護柵工 L=121m H=2.0m ・法面保護工A=300m ² ②整備期間 平成26年度～平成30年度 ③総事業費 約100百万円 (国費：45百万円(4.5/10)、県費：45百万円(4.5/10)、市：10百万円(1.0/10)) ④全体計画 (年度別整備内容) (事業費) 平成26年度 地形測量、地質調査、詳細設計 20百万円 平成27年度 用地測量、用地取得・補償、(重力式擁壁) 工事 20百万円 平成28年度 (重力式擁壁・落石防護柵・法面保護) 工事 20百万円 平成29年度 (重力式擁壁・落石防護柵・法面保護) 工事 20百万円 平成30年度 (重力式擁壁・落石防護柵・法面保護) 工事 20百万円 ⑤既整備内容・期間・事業費 ・なし				【事業位置図等】 			

2. 添付資料シート

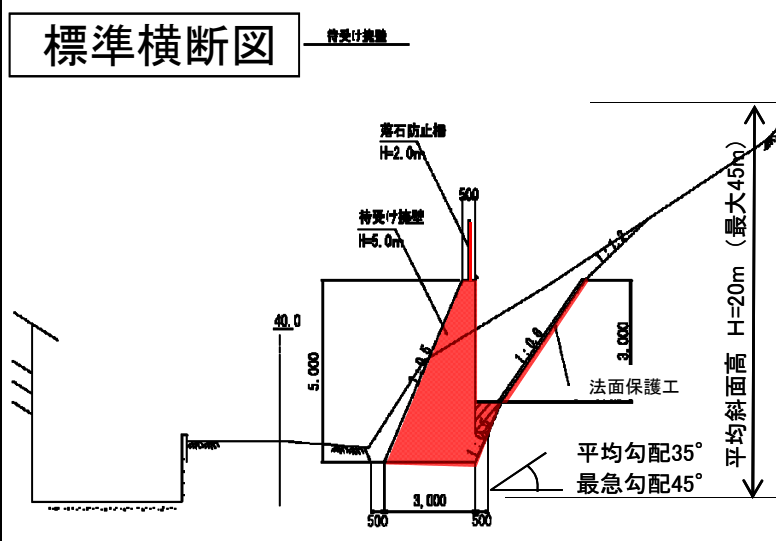
全景写真



平面図



標準横断図



①: 斜面状況・保全対象
災害時要援護者関連施設
デイサービスセンター福福(収容定員30名)



②: 斜面状況(近景)



③: 斜面状況(近景)

